

市報

# とす



平成5年

6/1号

No.735

うるおいと活力あふれ 未来にはばたく 交流都市

# みんなでごくえんよう鳥栖のごみ

毎日、毎日、山のように出るごみ。一体、私たちはどのくらいのごみを出しているのでしょうか。ごみの減量化や再資源化（リサイクル）が叫ばれている今、私たちはもう一度、ごみの出し方について考えてみる必要があるのではないのでしょうか。

## ごみ、1人1日1キロ以上

平成四年度に市が収集処理したごみは二万四千七百四十五ト。このうち台所くず、紙くず、布類、木の枝などの燃えるごみ（可燃物）が一万七千四百四十六ト、空き缶、金物、陶磁器などの燃えないごみ（不燃物）五千五百五十六ト、家具、寝具、大型電化製品などの大型ごみ（粗大ごみ）千七百四十三トとなっていました。この他に、自宅で焼却したり埋め立てしているごみが約三百七十トあると推計されるため、合わせて二万五千百十五トが私たちが一年間に出したごみの量になります。

これを一日に換算すると六十八・八ト、一日一人当たりで千二百二十八ト。なんと一

こ十年間のごみ量の推移

を見ると、グラフのように昨年度は十年前の昭和五十八年に比べ一・五倍、対前年比の伸び率は二・八割ですが、こ十年間の平均伸び率は四・七割となっています。

## ごみの1割が焼却灰に

ごみ収集は（有）鳥栖環境開発総合センターに委託し、可燃物は週に二回、不燃物は週一回、粗大ごみは二か月に一回偶数月に、町区ごとに曜日を決めて収集しています。

処理場へ再度運ばれます。

焼却場では搬入されたごみをじん芥塚に投入し、クレーンで少しずつ焼却炉に投入して燃やします。ごみは炉内の八百五十度の放射熱と下方から吹き上げられる二百度の熱い空気で乾燥されたあと、九百度の高温で自力燃焼します。

しかし、昭和五十一年に建設された施設そのものの老朽化と、最近はプラスチック類など高熱を発生するごみが増え、

衛生処理場に搬入されてくるごみの山。焼却しても、この量の一割は焼却灰として残ります。





不燃物選別機(年金積立金還元融資施設)



山積みされた不燃物を手で選別。大変な作業です。

不燃物選別機(年金積立金還元融資施設)に設置している緑色のダストボックス)に入れられた燃えるごみなど、不燃物として出されたごみには可燃物が四十割近く含まれているほか、ガラスや陶磁器、金属、再利用できるアルミ缶やスチール缶、ガラスびん、乾電池などがごちゃ混ぜになって出されているため、選別に大変な手間がかかります。一人が一日に処理できるのはせいぜい四、五車一台

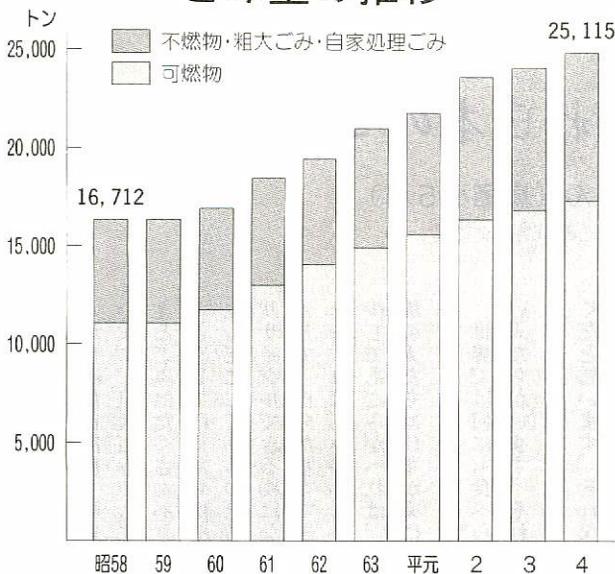
環境開発総合センターに運ばれた不燃物と粗大ごみは、従業員の手で燃えるものとリサイクルできるもの、埋め立てるものなどに選別されますが、毎日運び込まれて山積みになっているごみを人間の手で仕分けするのは大変な作業です。

炉内の耐火レンガの疲労が激しく、年間約七千万円の補修費が必要となっています。ごみを燃やしたあとには、その約一割の量の焼却灰が残ります。昨年度は千七百四十一トが焼却灰として排出されていますが、鳥栖市にはこれ

## 不燃物に可燃物40%が混入

を埋め立てる最終処分場がないため、処理場内に積み上げている状態です。また、各町区で行われる生活排水路などの清掃で出る土砂の処分地として三島町に確保している投棄場もほぼ満杯状態となっています。

## ごみ量の推移



センターでは「出されたごみを、また選別しなければならず二重手間です。市民のみなさんがごみの分別収集に協力していただけると手間も省け、処理コストも安くなるんですが、特に一昨年の台風以来、ごみの出し方がひどく

私たちの生活レベルが向上するに従って、年々、ごみの量も種類も増え続けています。ごみ問題は全国の自治体に共通の大きな課題ですが、鳥栖市も例外ではなく、私たちは今、ごみについて真剣に考えなければならぬときに来ています。

衛生処理場で行っているごみ焼却の経費が一億六千七百二十万六千円、センターに委託している収集処理の経費が一億九千六百四十一万円で、計三億六千三百四十三万六千円。これを一世帯当たりで換算すると年間二万一千二百二十五円になります。

## 1世帯2万円以上の経費

白色・茶色のガラスびんを選別し、リサイクル工場へ送られます。これら以外のものは破碎して埋め立てられます。一年間で十トトラック一台以上もたまる乾電池は年に一回、日本で北海道にしか所しれない水銀再生工場へ送られます。ここには全国から山のような乾電池が送られてきます。

## 空き缶回収機「くうかん鳥」を設置しました

空き缶の散乱防止とリサイクルを考えた直していただくため、市役所駐輪場東側に設置し、6月1日から利用していただいています。利用時間は午前8時半から午後5時までです。

回収できるのはアルミとスチールの空き缶500個まで。くうかん鳥の投入口に空き缶を入れると、「ご協力ありがとうございます」の音声流れ、右下の小窓から愛あいシールの交換補助券が発行されます。補助券はアルミ缶1個で1枚、スチール缶は2個で1枚発行し、100枚集めると生活環境課で50枚の愛あいシールと交換。補助券の台紙は同課に準備していますので、ぜひご利用ください。

投入した空き缶はアルミとスチ



ールに自動選別され、圧縮されて500個ずつ計1,000個分が分別収納されます。また、異物が入ると投入口で受け入れが停止される仕組みになっています。

ごみ指定袋制度モデル地区として試行するのは、今泉町、本鳥栖町、永吉町、飯田町、立石町、下野町の六町約千六百世帯。実施に当たっては、昨年十一月、無作為抽出の二百

など。これらを選別処理するには大変な労力と経費がかかります。市民のみなさんの分

## 指定袋モデル地区を試行

別収集とリサイクル活動への協力がなければ、ごみは一向に減りません。

市では、増え続けるごみの減量化、資源化をすすめるため、平成三年度から生ごみ堆肥化容器の購入に対する補助や、資源回収団体への奨励金制度、家庭から出る廃油でつくる粉石鹸製造機の貸し出しなどを行ってきました。本年度は市民のみなさんに空き缶

の散乱防止とリサイクルを考へ直してもらうため、空き缶回収機「くうかん鳥」を市役所に設置、また、この六月からはごみ指定袋制度モデル地区を設定し、制度導入の検討を行っていくことにしています。

生ごみ堆肥化容器「コンボ

スター」は、庭や畑などに置いて家庭から出る生ごみを処理するもので、百九十円（六千円）と百三十円（五千円）の二種について半額を補助しており、これまでに二千二百基、本年度は五百基に補助を行います。

資源回収団体への奨励金制度は、年に四回以上、リサイクルごみを収集して回収業者に売却した団体に、古紙・古繊維・金属類は一当たり二円、空きびん類は一本につき二円（一升びんは三元）を交付するものです。

昨年度は四十五団体が百八十八回の収集を行い、古紙・古繊維五百七十八ト、びん類十万六千九百七十八本、アルミ缶など二十七・五トを回収し、リサイクルしています。

## なくなれ日本のごみ

赤司大輔くん（鳥栖小5年）

※4年生のときに書いた作文です



山のように出るぼくたちのごみ。それを不燃物処理場の人たちは毎日毎日、処分しています。粗大ごみでもまだ使えるごみはたくさんあります。どうしてぼくたちはそんなにむだにしているのだろうか。リサイクルできる物はなるべくして、自分たちでできることをすればごみがへります。少しでもごみがへれば、処理場の人たちは仕事が楽になります。

世界では何にも食べられない人たちがいます。それにくらべたら、ぼくたちはぜいたくだと思えます。それなのに好き嫌いをして残したりしているの、ごみが増えます。残り物はコンポストに入れて肥料にできます。古雑誌、古新聞なども燃やして、灰は肥料にできます。

こういう、自分の家でできることはすれば、少しずつごみがへっていきます。今は、前にくらべてリサイクルする人も増えてきました。こうやってみんながリサイクルしていけば、ぐーんとごみはへります。

そこで、今ぼくたちの学校では「ごみ0の日」というのがあります。学校のごみを0にするため、0のつく日はみんなでごみをひろいます。でもなかなかごみはへりません。学校じゅうのごみをなくす

にはどうすればいいか。ぼくは外に落ちているごみなどはなるべくひろっている。元町にもごみはたくさんある。今までにぼくがひろっただけで、ジュースの缶だけで十個はあ

こうやって、町のみんなが目についたごみをひろえば、町はとてきれいな町になる。町がきれいになれば、ぼくたちはとても気持ちいい。そこを通る人も気持ちよくなります。一人ひとりが気をつけ、ごみをひろえば鳥栖のごみはなくなると思えます。

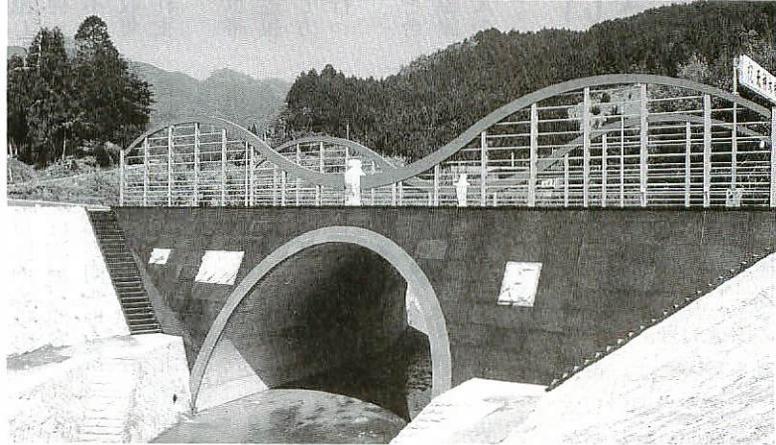
地球をこみから守るということは、自然を守ることにつながります。その自然を守るためにも、物をそまつにすることはぜったいにできません。物を大切にすると心がさえあれば、ごみはぜったいに少なくなると思えます。こういう心を一人ひとりみんなが持てれば、世界のごみはふえることはありません。

それともう一つ、好き嫌いをしないということです。ぼくはこれだけぜったいに守っています。好き嫌い、物をそまつにする、この二つだけはぜったいに守ってほしいと思います。

ぼくも、この二つだけでなく、このほかにもいろいろと努力し、ごみをなくすためにがんばろうと思います。



# またひとつ「とすの新名所」が誕生 バード橋が完成 魅力いっぱいの河内ダム周辺



◆鳥が羽を広げ、大空にはばたく姿をイメージしたバード橋

◆全員で渡り初めをして開通を祝った



幅十メートル（うち歩道三メートル）のコンクリート製、総事業費は一億円。橋の中心に置かれた鳥の彫刻から左右に曲線を描きながら伸びた欄干部分を羽、アーチ部分を足に見立て、鳥が羽を広げ、大空にはばたく姿をイメージして造られています。

鳥をイメージしたユニークな天神木橋（通称バード橋）の開通式が四月二十六日、河内町の現地で市長はじめ関係者約四十人が出席して行われました。

式典では、山下手長が「豊かな自然と調和するもの」と計画しました。この橋が河内ダム周辺のシンボルとして、訪れた人たちの目を楽しませてくれるものと確信しています。

初めを祝い、全員で渡り初めをして完成を祝いました。昭和四十一年に造られた旧橋は老朽化していたうえ、幅も五・五メートルと狭かったことから、ダム周辺を周回道路で結ぶ「橋と森のある道づくり事業」の一つとして、昨年十二月から工事を進めていたもので、牛原町の「東橋―シャワーブリッジ」に次いで二橋目。バード橋は長さ三十一メートル、

歩行者が歩道を通ると、設置された光センサーが感知してテープに録音されたホトトギス、ウグイス、メジロなど季節に応じた六種類の鳥の鳴き声が流れる仕組みになっています。橋の壁面には黒御影石を使用、ヤマドリやシラサギ、トビの彫刻を組み込み、橋の横には訪れた人が水に親めるように川岸に降りる階段

を設けています。

また、バード橋の二百メートルほど下流に現在、県が河川プールを建設中で、平成七年には河内ダムの中心部に全長百四十メートルのつり橋「風の見える橋（仮称）」、湖畔に多目的広場も整備される予定です。市でも本年度、市民の農業体験と農家とのふれあいの場として、とりごえ荘東側に宿泊機能を持つ「滞在型農園施設（定員八十四人）」の建設とふれあい農園を開園する計画です。

とりごえ荘、市民の森、バード橋に加え、これらの施設が整備されれば、豊かな自然と清流を持つ河内ダム周辺がさらに魅力ある市民の憩いの場になるものと期待されています。

## 県教育長が旭小の 陶器食器を視察

昨年九月から陶器食器を導入している旭小学校に四月二十六日、堤清行・県教育長が視察に訪れ、一年二組の児童と一緒に陶器食器で給食を食べました。

これまで割れない、軽くて扱いやすいというところで使われてきたアルマイト食器は、「熱いものを入れると手に持つことができず、下に置いたまま片手で食べ、姿勢も悪くなる」「割れないことで、逆に準備や後片付け時の扱いが雑になる」「スプーンなど」とふれ合った時の金属音がやかましい。

「おいしさが半減する」など、学校や父母の間からも食器改善の声が上がっていました。

今回の陶器食器導入で子供たちは食器を大切に扱うようになり、器を手を持って食べるなどマナーも向上、子供たち自身も図柄の入ったか



児童らと陶器食器で給食を食べる堤・県教育長

わい有田焼の食器に「持ちやすい」「前よりおいしく食べられる」などと評判も上々のようです。

県内の陶器食器を導入している小学校は、百七十七校のうち三十校余り。陶磁器の里である有田町が全校導入しているほかは各市町村とも一校程度。鳥栖市では、昨年度が鳥栖小、麓小、旭小の三校に、今年度中に残る鳥栖北小、若葉小、基里小、田代小の全小学校に導入する予定です。

# 池田(下)ため池が水と緑の公園に

## ほたるの養殖施設も完成

水と緑にふれあう市民の憩いの場として公園化を進めていた神辺町と萱方町にまたがる池田(下)ため池の水辺環境整備事業がこのほど完成、四月三十日、市長はじめ関係者約五十人が出席して現地落成式が行われました。

市や県、池田(下)ため池水利組合などの代表九人がテープカットをして落成を祝ったあと、鳥栖ほたるの会が水路にほたるのえさになるカワニナ二千匹余りを放流しました。

同ため池は、農業かんがい用として利用されていましたが、下流域の農地が宅地化し、利用する農家が減少、ため池自



完成を祝い、山下市長ら9人がテープカット

体も老朽化していたうえ、土砂が堆積し、ため池としての機能も低下していました。

このため、平成三年度から工事を進め、ため池総面積約八千平方メートルのうち北西側四千五百平方メートルを造成、あずまや二棟、直径二メートルの水車一基、ほたるの幼虫を飼育するほたるの養殖施設一棟のほか、国重要文化財・安永田遺跡出土の銅鐸鑄型にちなんだ銅鐸のレプリカをつり下げ、時報と音楽を奏でる高さ八・三メートルのシンボル塔(銅鐸塔)や幅一・五メートルの遊歩道を設けています。施設はすべて木造で、水路の両側には自然石を使用、市の花ハナシヨウブ二千株、高木百本も植えられ、周囲の環境との調和を考えています。

総事業費は一億三千九百万円。

ほたるの養殖施設では、鳥栖ほたるの会(会長宮原久)が卵のふ化、幼虫の飼育、カワニナのえづけに当たり、数年後にはほたるが乱舞する姿が見られると期待しています。



ホタルが舞うのが楽しい整備された池田(下)ため池

## 市民160人が轟木川を清掃

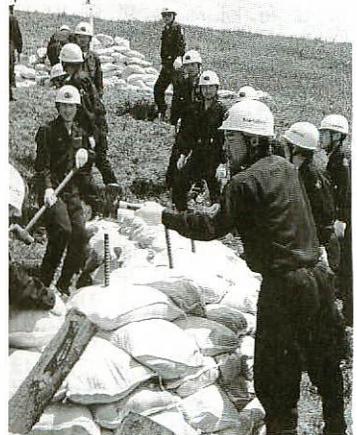
・インターアクトクラブの生徒十五人はじめ市民約百六十人が参加。鳥栖工業高校体育館南側の土穴橋から市役所北側の野添橋上流までを清掃し、

五月十六日、市と市公害防止連絡協議会が行った轟木川の清掃に、鳥栖小学校五・六年の児童二十四人や鳥栖商業高校のボランティアグループ

空き缶やビニール、木くずなど二トナダンブ二台、軽トラック一台分のごみが集まりました。清掃に先立ち、子供たちが

魚とりができるきれいな川にと、鳥栖ロータリークラブがタナゴ、ウナギ、ハヤ、コイ、ドンボなど六種約二千匹を放流しました。

## 災害に備え水防演習



演習に取り組む鳥栖市水防団員

梅雨期を前に緊急時における水防技術の向上、体制の強化、思想の普及を図るため、鳥栖土木事務所管内筑後川水防演習が五月十六日、高田町の宝満川河川敷で行われました。

鳥栖市水防団は、土のうを半月状に積み上げ、川裏の漏水を防ぐ月の輪工法を披露、団員たちが機敏な動作で次々に土のうを積み上げ、くいを打ちこんでいきました。

年二回、春と秋に行っている轟木川の清掃も今回で十一回目、川も以前に比べかなりきれいな川を取り戻しましょう。



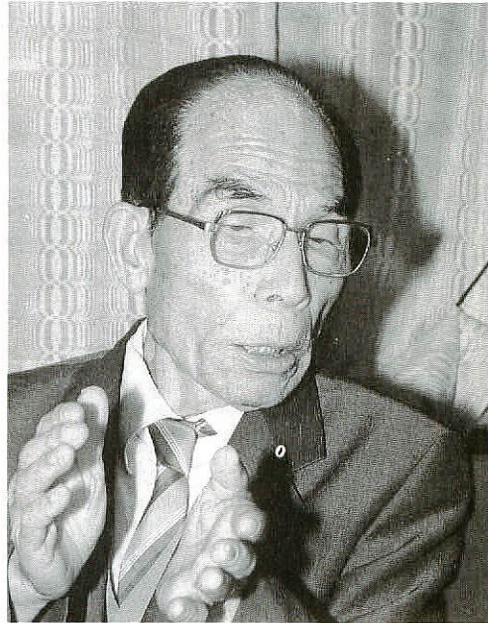
清掃作業をする市民のみなさん

トピックス

## 真心の園で俳句と謡曲を指導

酒井 経夫さん（92歳・本通町）

特別養護老人ホーム「真心の園」（羽立俊男園長）で句会を主宰して十三年目。毎月二



回、入園者や職員約四十人の俳句づくりと謡曲を指導し、この四月には全員の作品から

選んだ句集「まごころ」の第十二集が出ました。俳号は九峰。昭和五十六年、当時の中島園長から頼まれ、「入園者が寝たきりばかりではいけない。力づけになれば」と、お年寄りのリハビリの一環として引き受けました。

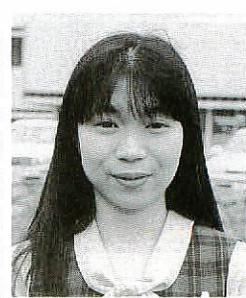
## あんひと こんひと

元鳥栖高校 教諭で、父親が俳句と謡曲をやっていた影響でこの道へ。俳誌ホトトギスに毎月、作品を投句し、最初に掲載されたのが「笹舟を招き寄せたる扇かな」。昭和初年には高浜虚子に師事し、虚子について満州などを回って句を読みました。

「俳句は五・七・五のわずか十七文字の中に自然の素晴らしさを折り込んだ世界一短い短詩。鳥栖は自然に恵まれ、いい材料がたくさんあります」旧制明善中学時代は、永吉町から往復十数キロを徒歩で通い、陸上部でマラソンをしていたおかげで、今もかくしやくとして健康そのもの。

県東部でただ一人のホトトギスの選者で、昭和三十一年から始めた鳥栖ホトトギス会のほか、妻の千代さん（八十二歳）が所属し二十五年間続く婦人だけの句会・雷会の指導も続けています。

昭和三十一年から五十七年まで保護司、五十四年度から平成三年度まで市文化連盟副会長を務められています。



② 民生部市民課国民年金係 国武 真子

## 市役所 ままぶ

## 農業 新時代

### 「婦人パワーで取り組む カスミ草づくり」

一株に数百の花を霞状に咲かせ、どんな花とも調和するカスミ草。母の日にはカーネーションとともになくてはならないものです。鳥栖市の花どころ安楽寺町で、このカスミ草づくり

に取り組んでいるのが婦人グループ「安楽寺カスミ草研究会」。メンバーは杉野君子さん、杉野千代子さん、緒方啓子さん、斉藤敏子さんの四人で、いずれもご主人が勤めに出ている第二種

◁25▷

兼業農家です。研究会の結成は昭和五十八年。それまで栽培していたツツジに連作障害が生じ、何か新しい花をとカスミ草づくりに取り組みました。過湿や雨に弱く、排水のよい乾燥気味の土壌を好むため、ビニールハウスで栽培。日当たりを良くするための年一回のビニール張り替えと、毎日の通風作業は欠かせません。春と秋の出荷時には家族総出で作業し、

久留米市の市場へ。「カスミ草は天気によって左右されることが多く、結果は毎年違います。でも手をかければかけるほど見返りもある。ハウスに足しげく通った人の勝ちです」昨年はその活動が認められ、県農業経営コンクール農村婦人グループ部門の優良賞を受賞。良きライバルでもある四人は「婦人パワーでだれにも負けないカスミ草を」と頑張っています。



右から杉野君子さん、杉野千代子さん、緒方啓子さん、斉藤敏子さん

「涙の報道」

五月のある日、NBCラジオ佐賀のスタジオで「みんなの力で新しい佐賀を」の番組に出演、終わってふと同社の元報道記者だった増川雅一さんのことを思い起こした。

昭和四十年の五月、私は当時佐賀である組織の責任者として、同僚の長男の救援活動を続けていた。その博彦ちゃん（五歳）は不幸にして先天性心室中核欠損症にかかり、生命の保証ができないので手術を要するとのこと。しかし

そのころはまだ悲しき福祉国家といわれ、手術には多量の献血と多額の費用負担を要していた。従って職場から同志的活動として愛の献血と手術費用のカンパの声があがり、私もその運動の推進役となった。報道機関あがての支援もあった。増川さんは第一線の記者として、取材に奔走された一人である。

おかげでこの運動は職場から地域に広がり、九州はもちろん全国大の愛の運動として

波紋を画くように大きくなった。若い人たちの相次ぐ献血の申し出、六千人を超える人々や多くの組織からの善意のカンパも続々と寄せられた。この善意に支えられ、博彦ちゃんも同年十一月一日久留米医大で三時間に及ぶ大手術に耐えた。手術成功との報に関係者は万歳を叫んだ。

しかし、翌二日、病状が急変、六千人の善意むなしく博彦ちゃんは死んだ。善意の灯がブツンと消えた。博彦ちゃん

んが大好きだった立石町のおじいちゃんの家で行われた葬儀に出席した私も増川記者もともに涙を流した。博彦ちゃんに対する申し訳なさと医療制度の不備に対する不満とで、心の中にむなしさが広がった。

後日報道されたNBCの「六千人の無償の行為博彦ちゃん死んだ」構成花田篤信、取材増川雅一は、医療行政の貧困、献血制度にサポートを当て、聞く人々に大きな感銘を与えた。そして昭和

四十一年度のラジオ報道活動賞部門の金賞として高い評価を受け、医療保険制度充実への導火線のひとつとなった。寄せられし血も諸君に焼けてゆく秋に悲しき君の昇天

訂正 前回の「九千部山と白蛇」（五月一日号七ページ）で、五段四行目の次に「千部山はいまも私たちを抱いた」の一行が欠落していました。おわびして訂正します。

英 雄

第十回市内ジュニアバレーボール大会が五月十六日、市民体育館で開かれ、鳥栖・基山の八小学校から女子児童約百四十人十五チームが出場。六年生クラスのAパートで麓小が四年ぶり、五年生クラスのBパートで旭小が五年ぶり、いずれも三度目の優勝を果たしました。

また、最優秀選手には麓小の立石愛子さんが選ばれました。

Viva! ビバ スポーツ ⑫

ジュニアバレーボール

麓小、旭小が優勝

大会主力のAパートには七チームが出場し、白熱したプレーを展開しました。麓小は若葉小を2-0、田代小を2-1で破り、決勝で基山小と対戦。1セット目15-13、2セット目13-15、そして3セット目は15-0と基山小を無得点に抑える奮闘ぶり。

監督の酒見和男教諭はうれしさを抑えきれない様子で次のように話します。

「みんな、力を合わせてよく頑張りました。これまで自分たちのミスで自滅するケースが多か

ただだけに喜びもひとしおです。通常の練習に加え、日曜日も父兄の方が熱心に指導をされた成果です」

「六月のライオンカップ小学生大会・県大会にはぜひ優勝して、全国大会に行けるよう頑張ります」

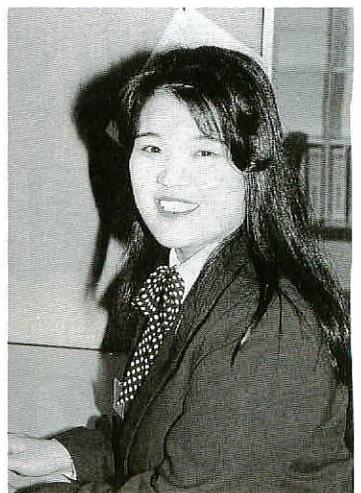


4年ぶりの優勝を果たした麓小チーム

さわやかさん (2)

私たちが佐賀事業部は九州松下電器(株)の乾電池、ステレオを製造する工場として昭和三十九年、村田町に設立、現在はプリンターなどOA機器を専門に製造しています。社員は七百二十二人。私は三百人いる技術者の中の一人としてソフト開発課でコンピューターを使ってソフトのチェック業務などを担当しています。

市内でよく行くところは田代公園と河内ダム。春は桜がきれいですね。新しくできたバード橋も早速、見に行きました。でも、市にはジャンクシオンがありません。人々を集めるような目玉になる施設がないので、ぜひ、今話題になっているサッカー場の建設、プロサッカーチームの誘致を実現してもらいたいですね。



九州松下電器株佐賀事業部勤務 松雪 直美さん (24歳、酒井東町)

第5回

「花の日」「鳥の日」

コンクール入賞おめでとう

●第2回春季花壇コンクール(応募十四点)

市長賞 樋口トエ(轟木町)  
 ▼会長賞 保育所鳥栖園(秋葉町) ▼優秀賞 池上秀高(同) 保育所白鳩園(原町) ▼努力賞 安丸ハツエ(今泉町) 鈴木登美子(神辺町) ▼奨励賞 宿町老人会(宿町) 鳥栖西中学校(蔵上町)

●花模様圖案(同四百五十八点)

【小学生の部】市長賞 井上純兵(田代小三年) ▼議長賞 山下浩平(麓小四年) ▼会長賞 榎美枝(若葉小六年) ▼ソロプチミスト会長賞 中村芽久美(麓小四年) ▼金賞 池田雅和(同) ▼銀賞 内田美智代(鳥栖北小四年) ▼銅賞 赤司沙織(若葉小五年) ▼入選 高橋昌宏(同三年) 田中雅基(田代小三年) 石橋富美子(同四年) 長志保(同) 松隈由紀子(鳥栖北小四年) 松永勇司(同五年) 木村真理子(若葉小五年) 永瀨美幸(麓小五年) 林良美(同六年) 宮原亜季(田代小六年)

恵(同三年) ▼金賞 久保朋子(同) ▼銀賞 西岡明子(同) ▼銅賞 松本江末(同) ▼入選 谷口嘉朗(同) 橋本珠美(同) 吉田幸恵(鳥栖中三年) 今泉愛(同) 的場美和(同)

●花鳥書道(同千六百八八点)

【小学生の部】市長賞 井上純兵(同六年) ▼議長賞 おがたともひろ(同一年) 大石ゆか(同二年) 陣内美加(同三年) 渡辺有紀(麓小四年) 緒方美希(旭小五年) 高木嘉大(同六年) ▼金賞 下はしとおる(同一年) はたしまゆか(同二年) 永野希(同三年) 高木智子(同四年) 赤司尚江(同五年) 山口るみ子(同六年) ▼銀賞 ともます一ひこ(同一年) さな田あゆみ(同二年) 横尾友ひろ(同三年) 篠原里美(同四年) 江崎香織(同五年) 木下有香(基里小六年) ▼銅賞 中むらひとみ(鳥栖北小一年) 水きちか(旭小二年) 赤司とくまさ(同三年) 原哲信(同四年) 寺尾聡(同五年) 松隈圭子(鳥栖小六年)

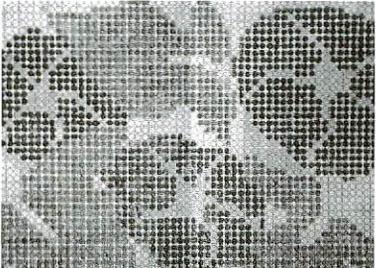
【中学生の部】市長賞 大塚歩(鳥栖西中一年) 有馬聖子(鳥栖中二年) 牛島寿子(同三年) ▼議長賞 井上智香子(鳥栖西中一年) 末成智子(鳥栖中二年) 織田文香(基里中三年) ▼金賞 吉成崇(鳥栖西中一年) ▼銀賞 古沢智枝美(鳥栖中一年) 野林真理(基里中二年) ▼銅賞 広松春美(鳥栖西中二年) 中村麻美(鳥栖中二年)

●愛鳥週間ポスター(同七百四十三点)

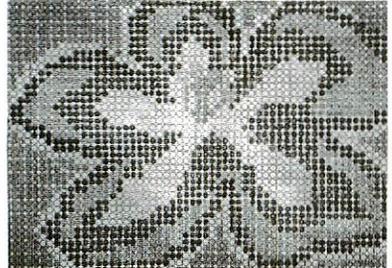
【小学生の部】市長賞 朝日麻美子(若葉小六年) ▼議長賞 長野菜穂子(旭小六年) ▼金賞 井上美華(同) ▼銀賞 小河原郁子(同) ▼銅賞 中村麻美(同) 徳山真由子(鳥栖小六年) 大鶴直史(同)

◆花模様圖案

原 紀子さん(鳥栖中三年)



井上純平くん(田代小三年)



里中二年) ▼銅賞 広松春美(鳥栖西中二年) 中村麻美(鳥栖中二年)

◆愛鳥週間ポスター

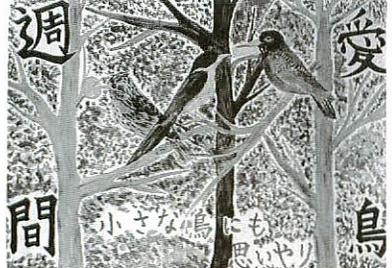
【小学生の部】市長賞 朝日麻美子(若葉小六年) ▼議長賞 長野菜穂子(旭小六年) ▼金賞 井上美華(同) ▼銀賞 小河原郁子(同) ▼銅賞 中村麻美(同) 徳山真由子(鳥栖小六年) 大鶴直史(同)

◆愛鳥週間ポスター

平田頼子さん(鳥栖西中二年)



朝日麻美子さん(若葉小六年)



高田えり(鳥栖北小四年) ▼入選 酒井保代(旭小六年) 中尾悟(同) 陣内信夫(同) 雨森早地子(鳥栖小六年) 平山優祈(同)

【中学生の部】市長賞 平田頼子(鳥栖西中二年) ▼議長賞 中尾睦子(同三年) ▼金賞 裨田愛(同) ▼銀賞 陣内芳江(同二年) ▼銅賞 中山涼子(同) ▼入選 楠しん子(同) 田中伸子(同三年)

市長賞

受賞作品

◆花鳥書道

自然公園 西中一年 大塚歩

自然公園 鳥栖中三年 有馬聖子

自然公園 鳥栖中三年 牛島寿子

とりの 年はらけいすけ

はな 二年よきおゆう

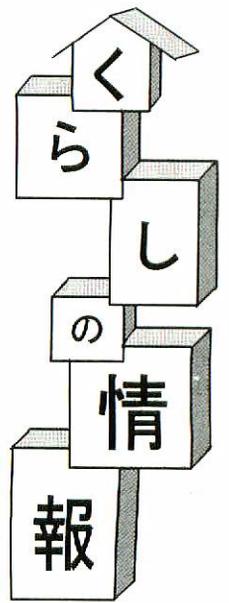
のとりの日 三年 吉川有沙

花の日 旭四年 河合仁志

鳥の花 旭五年 豊増美奈子

愛鳥週間 旭六年 広尾悦子





# 農業委員会委員の選挙

投票日は7月11日(日)

任期満了に伴う鳥栖市農業委員会委員選挙が、七月四日(日)告示され、同十一日(日)に投票が行われます。農家のみなさんにとつては大切な選挙です。明るい選挙でりっぱな人を選びましょう。

選挙についてのお問い合わせは市選挙管理委員会(☎3507)へ。  
 (一)委員の定数  
 (一)選挙による委員：二十人  
 (二)農業協同組合と農業共

済組合がそれぞれ推薦した理事：二人  
 (三)市議会の推薦した学識経験者：五人以内  
 (二)選挙区と定数  
 第一選挙区(鳥栖・麓・旭) 十二人  
 第二選挙区(田代・基里) 八人

(三)選挙権のある人  
 (一)市内に居住する二十歳以上(平成五年三月三十一日現在)の人で、十アール以上の農地を耕作している人  
 (二)(一)の人と同居している満二十歳以上の親族またはその配偶者で、一年間を通じておおむね六十日以上農地を耕作している人

(四)立候補の届け出  
 告示日(七月四日)に選挙長(市役所二階第五会議室)に届け出なければなりません。届け出時間は午前八時半から午後五時までです。  
 (五)不在者投票  
 投票日に、仕事や疾病などやむを得ない事情で投票所へ行けない人は前もって不在者投票ができます。  
 と き 七月四日(日)から同十日(土)まで、午前八時半から午後五時  
 と ころ 市役所一階第一会議室

## スポーツ

### 6月のスポーツ情報

6日 ●第40回鳥栖市親善町区対抗野球大会(8時、市民球場ほか)▽第1回鳥栖市オープンテニス大会(9時、市民庭球場)▽史跡めぐりハイキング・楯比遺跡を訪ねて(10時、田代公民館集合)  
 20日 ●第16回親子バドミントン大会・第13回バドミントン混合ダブルス大会(9時、市民体育館)  
 27日 ●第2回ラージボール

### 住民スポーツ推進指導員研修会

卓球大会(9時、多目的ホール)  
 と き 六月十三日(日)午前九時受け付け  
 と ころ 中央公民館・市民体育館  
 対象 町区体育部長、体育指導員、各競技スポーツ指導者、スポーツ少年団指導者のほかスポーツに関心のある方  
 内容 講話「スポーツ活動(運動)の必要性」、実技「エアロビクス(有酸素運動)の実践」ストレッツの方法「ニュースポーツ・ターゲットバードゴルフほか」

### 史跡めぐりハイキング 楯比遺跡を訪ねて

申し込み 六月十日までに電話または直接、教育委員会社会体育課(☎3522)へ  
 と き 六月六日(日)午前十時  
 と ころ 田代公民館集合  
 参加料 無料  
 定員 六十人  
 持ってくるもの 昼食、水筒、雨具、タオル、筆記用具など  
 申し込み 教育委員会社会体育課(☎3522)へ

### 水泳教室

鳥栖市水泳連盟(中富正義

申し込み 六月十日までに電話または直接、教育委員会社会体育課(☎3522)へ  
 と き 六月六日(日)午前十時  
 と ころ 田代公民館集合  
 参加料 無料  
 定員 六十人  
 持ってくるもの 昼食、水筒、雨具、タオル、筆記用具など  
 申し込み 教育委員会社会体育課(☎3522)へ

## 一緒に勉強

### しませんか

### 健康づくり教室

すこやかセンター(保健センター)では、市民のみなさんに健康で楽しく毎日を暮らしていただくため、右表のとおり健康教室を開きます。みんなで一緒に勉強してみませんか。申し込みは同センター(☎3650)へ。

	と き	内 容		持ってくるもの	定員
		午 前	午 後		
肝臓病教室	6月29日(火) 9:30~15:00	健康診査の結果について 栄養の基礎知識 調理実習	医師の話 「肝臓病のトピック」	健康手帳、筆記用具、 三角巾、エプロン、米 1/2カップ、材料費250円	25人
糖尿病教室	<1日目> 6月30日(水) 9:30~15:00	健康診査の結果について 栄養の基礎知識 調理実習	医師の話 「糖尿病って どんな病気」	健康手帳、筆記用具、 三角巾、エプロン、米 1/2カップ、材料費250円	15人
	<2日目> 7月7日(水) 9:30~14:00	食事のとり方 生活チェック 調理実習	個別保健指導		
コレステロール教室	<1日目> 7月2日(金) 10:00~15:00	健康診査の結果について 主食、間食のとり方 弁当診断	医師の話 「コレステロールって何」	健康手帳、筆記用具、 弁当	25人
	<2日目> 7月8日(木) 10:00~14:00	食事のとり方 調理実習	個別保健指導		

参加者 市内居住者  
問い合わせ 鳥栖郵便局貯金  
課(☎32330)

## 「存じますか」

## 防火管理に関する講習会

とき 七月八日(木)・九日  
(金)の二日間

ところ 鳥栖・三養基地区消防事務組合消防本部

受講料 無料(ただしテキスト代として三千五百円を佐賀銀行に納入してください)

申し込み 六月三十日まで  
鳥栖・三養基地区消防事務組合消防本部予防課建築係(☎7996)へ

## 佐賀県教員採用試験

試験区分 小学校・中学校・高等学校の各教諭等、養護教諭  
受験資格 受験する試験区分



## 映画化記念特別講演会 「盲導犬カナ!私と走って」

6月10日(休)午後7時、中央公民館。講師に「盲導犬カナ」の原作者・坂井ひろ子さん(日本児童文学者)を招きます。第23回鳥栖市民大学。入場無料。申し込みは鳥栖新聞事務局(☎337470)へ。

## ビデオ講習会

6月27日(日)・7月24日(日)の2回午後2時~同5時、市立図書館2階視聴覚室。内容は家庭用ビデオカメラとビデオデッキを使った編集の方法と実技。講師はSTSサガテレビ鳥栖支局長・北村和秀氏。定員30人で参加無料。ビデオカメラを持参することが条件。申し込みは鳥栖ビデオレコーダーズ・田中稔(鳥栖商工会議所内☎33121)または佐藤勇夫(市立図書館内☎3630)へ。

## 硬式テニス ポテトクラブ会員募集

6月5日(土)から毎週土曜日午後5時~同7時、市民公園庭球場。対象は18歳以上の方(高校生は除く)。月会費1,000円。申し込みは松隈孝司(柚比町☎33192)へ。

## 働く婦人のためのカラーセミナー

6月21日(月)午後2時~同4時、鳥栖商工会館3階。テーマは「女性のための毎日が楽しくなる色づかい」。鳥栖商工会議所婦人会など主催。受講料は会員無料、非会員1,000円。申し込みは同会議所婦人会事務局(☎33121)へ。

## 第16回鳥栖市オールド野球大会・代表者会議

6月22日(火)午後6時、市役所2階第5会議室。出場資格は市内に居住または勤務する40歳以上(平成5年4月1日現在)の方で選手9人の合計年齢が400歳以上であること。参加料5,000円(当日持参)。

(中・高教諭等は受験教科)の普通免許状を所有する者、または来年三月末までに取得見込みの者で、昭和二十九年四月二日以降に出生した者(四十歳未満)  
第一次試験 七月二十五日(日)~同三十日(金)

## 寄付 (敬称略)

4月30日現在

香典返し 社会福祉協議会へ▽林玲子(東町、亡夫一雄)▽宮原克義(神辺町、亡父門次郎)▽古野ヤスエ(本鳥栖町、亡夫仲夫)▽永家幸憲(同、亡母ヒサヨ)▽徳淵ナミエ(曾根崎町、亡父熊吉)▽平川タキエ(同、亡夫八郎)▽立石徳三(原古賀町、亡妻絹江)▽山田保(今町、亡父小三郎)▽酒井利子(田代外町、亡夫壽雄)▽高田誠彦(平田町、亡父一夫)▽西山悟(酒井東町、亡母タカ)▽津田清

隆(原町、亡母訓)▽石井信子(本町、亡夫利秋)▽野下司郎(酒井西町、亡父甚三郎)▽榎藤広二(藤木町、亡母キミ)▽村山マスエ(土井町、亡夫秀雄)▽岩瀬九子(加藤田町、亡夫愛次郎)▽今泉義勝(山浦町、亡父善作)▽川端静子(姫方町、亡夫千代喜)▽田中久司(萱方町、亡妻キミ子)▽福地扶左代(鎗田町、亡夫保)▽橋本ハルエ(布津原町、亡夫若芳)▽坂本サツ子(山都町、亡夫軍次)▽篠原五十六(秋葉町、亡母シツエ)▽園木登(柚比町、亡母トク)▽角田定利(西田町、

亡母中村キクノ)▽峯百合子(儀徳町、亡夫広幸)▽西村圭三(同、亡妻康子)▽樋口松子(一本杉住宅、亡夫林少良)▽榎藤信子(同、亡父峰雄)▽野口弘人(元町、亡母カツエ)▽野口憲治(本通町、亡母トミエ)▽荒木京子(立石町、亡夫正男)

池尻恵二)いづみ園へ▽さくら、くるがねもち、やきぼうしなど記念樹木二十本(十三万円)▽平成四年度終園児一同(代表松隈邦博)基里公民館へ▽大型掛け時計(十万円)▽基里地区区長会(代表林幸博)▽応接用大型テーブル、和室用花台(十万円)▽友田久恵(姫方町)育英資金へ▽八万円▽安本トメ(田代本町)▽十万円▽徳淵ナミエ(曾根崎町)▽十万円▽国際親善ロイズアソシエーション(会長中富文子)交通遺児へ▽七千八百八十六円▽南鳥栖自動車学院(代表取締役山本幸男)

●清掃(元町)：女三千六百六十歳、十萬九千円  
●組み立て作業員(北茂安町)：女二千五百八十八歳、十二万二千五百四十四円  
●清掃(基山町)：女四十、六十歳、時給七百五十円

試験場所 佐賀西高等学校  
試験内容 作文、適性検査、一般・教職教養、教科(科目)、実技、個人面接  
受付期間 六月十五日(火)から同三十日(水)午後五時まで  
問い合わせ 市教育委員会学校教育課(☎3520)。願

書は同課に用意しています  
訂正  
五月一日号九ページ、寄付欄香典返しの記事で「戸口藤枝(同、亡夫貞男)は「戸宮藤枝(同、亡夫貞男)の誤りでした。また、同号同ページ、

はしか・MMRWクチン予防接種の表中、石田医院の実施曜日/実施時期「月、土曜日/10:00~12:30」は「月、金曜日/10:00~12:30、15:00~17:00、土曜日/10:00~12:30」の誤りでした。おわびして訂正します。

## 高齢者就職情報

高齢者職業相談室(市役所商工課内)では高齢者への職業紹介などを行っています。現在企業から次のような求人申し込みがあります。詳しい仕事の内容などは同相談室(☎3556)へ。

●倉庫作業員(北茂安町)：男四十五~六十歳、十四万四千~十六万三千円

●塗装口ポット操作作業員(北茂安町)：男五十五~六十歳、十五万三千~十五万七千円

●保安管理職(市内)：男二十~六十歳、十一万~十五万円

●清掃(元町)：女三千六百六十歳、十萬九千円

●組み立て作業員(北茂安町)：女二千五百八十八歳、十二万二千五百四十四円

●清掃(基山町)：女四十、六十歳、時給七百五十円

# 中世山城と筑紫氏

## ⑫ 筑紫氏 その十一

前号で述べた筑紫惟門が、大友氏に大勝した侍島の合戦を、「九州治乱記」では永祿二年(一五五九)としているが、前後の事情や武藤筑紫氏系図などから永祿十年(一五六七)が正しいと思われるので訂正しておきます。

永祿二年のこととして、筑紫惟門による博多焼き打ちが知られています。これは惟門が兵二千をもって、大友氏が代官を置いて支配する博多を攻め、代官を殺した事件で、当時日本で布教活動を行っていた宣教師ルイス・フロイスの「日本史」の記事にみられます。このように筑前・肥前において

反大友の急先鋒であった筑紫惟門は永祿十年、大友氏に大勝した侍島の合戦直後、不慮の死をとげます。武藤筑紫氏系図によれば「永祿十年丁卯五箇山而不慮自害三十七歳」とあり、その死は謎に包まれています。

この惟門の死については、推測ですが侍島の合戦で大勝したものの依然として大友氏の勢力は強大で、筑紫・大友講和の条件として筑紫氏の領域支配の安堵と引き換えに、詰め腹を切らされたことが考えられます。この段階では惟門は当然、本拠地基肄・養父を奪還していたと考



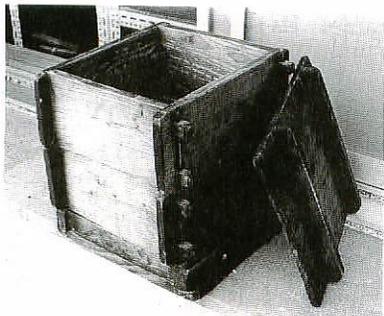
筑紫氏の菩提寺といわれる基山町専念寺

えられ、旧領すべての支配が認められたものと思われま。筑紫氏の菩提寺は基山町専念寺で、かつて墓石もあったといわれ、寺には惟門をはじめとする筑紫氏代々の位牌が伝えられています。

# 消えゆく民具

## —生活用具編—

木を組んで作った角型の蒸籠



### ④⑩ 甑・蒸籠

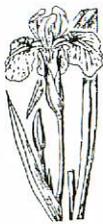
甑も蒸籠も穀物などの食物を蒸す器(道具)ですが、古くは甑と言ひ、後に蒸籠と言ふようになったようです。弥生から古墳時代にかけての住居跡などから、甑の底に一個または数個の穴があいた土器が出てきます。この穴から蒸気を通して蒸すわけですが、文化財調査上ではこれらは甑と呼んでいます。蒸籠には角型と丸型があり、丸型は木の組み合わせ、丸型は木を薄くはいで曲げた曲物(まがも)です。底に細い棧(渡し木)を

取り付けて竹の簀(すい)を敷き、湯のたぎる釜にのせて蒸します。市の文化財収蔵庫には三セツトの蒸籠を寄贈していただいています。いづれも角型ばかりです。この地方ではもっぱら角型を使っていたのかも知れません。どなたか丸型のものをお持ちでしたら、お譲りください。余談ですが、鹿児島県の甑島は、遠く海上から眺めると甑を逆さに伏せたように見えることから、この名が付いたとも言われています。



## 今号の表紙

五月晴れとなった5月16日(日)、第5回「花の日」「鳥の日」が中央公民館とその周辺で開かれ、大勢の親子連れでにぎわいました。今年5周年を記念して合同で開催、スケッチ大会では子供たちが会場を飾った花や鳥を題材にキャンパスに絵筆を走らせ、アートフラワーと押し花教室では主婦らが熱心に作品を仕上げていました。(関連記事は10ページ)



市の花ハナシヨウブ



市の木モチノキ

◆赤ちゃんの写真を募集 「パパ撮って」に掲載する赤ちゃんの写真募集。写真とひと言を添えて企画課広報統計係(☎☎3513)へ。

## パパ撮って



高見真二さん由美子さんの長女  
真由ちゃん  
(十か月・萱方町)

●パパからひと言  
まゆびーと一緒にツーリング  
できる日が楽しみだね

## 人口

平成5年5月1日現在

総数 55,977人 (-14)

男 26,716人 (-14)

女 29,261人 (±0)

世帯数 17,231世帯 (+27)

## 6月の納税

市 県 民 税(1期分)  
国民健康保険税(1期分)

納期限 ●6月30日  
市税は納期内に納めましょう。  
納期を過ぎると、本税のほか延滞金が増加されます

## 水道の修繕

鳥栖市管工事協同組合

TEL 84-2500

水道の修繕はすべて上記へ  
お申し込みください